

担当 都市局 まちづくり推進部 浦和東部まちづくり事務所 電話：048-878-5143
環境局 環境共生部 環境未来都市推進課 電話：048-829-1329

担当 都市戦略本部 都市経営戦略部 電話：048-829-1033
都市局 まちづくり推進部 岩槻まちづくり事務所 電話：048-790-0234

1-18 美園地区のまちづくりの推進

■4年間の目的・目標、取組方針

<目的・目標>

副都心の都市機能の向上、まちのブランド差別化に向けて「公民+学」(注1)による河川空間活用や交通環境改善、街並み誘導、先導的モデル街区の整備、新たな総合生活支援サービスの提供等を進め、「美しい園」に相应しい都市環境を形成します。

<取組方針>

・美園タウンマネジメント協会と都市デザイン協議会が、アーバンデザインセンターみそのを拠点に「公民+学」による連携・協働を図るとともに、次世代自動車・スマートエネルギー特区とも整合を図り事業を推進します。
・「来街者をもてなし日常的にも賑わい・交流が生まれる都市環境」「公共交通・歩行者・自転車を中心とした交通環境ネットワーク」「健康を育みスポーツに親しみやすい都市環境」「自然環境を生かしながら安全・快適で落ち着いた雰囲気のある街並み」を形成します。

■現状・背景

・土地区画整理事業による都市基盤整備が進捗している一方、河川空間の有効活用や交通渋滞の改善、生活サービスの提供、地域ブランド力の創出が課題となっています。
・「公民+学」によるまちづくりを進めていくための将来都市像・基本理念となる「美園スタジアムタウン憲章」と都市環境づくりの共通指針となる「みその都市デザイン方針」が平成29年4月に策定されました。

<公民+学によるまちづくりの概念図>



■各年度の取組内容と目標

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度～
取組内容	運動やスポーツに取組める、綾瀬川遊歩道と埼玉スタジアムに隣接した広場(大門上調節池)の整備計画	遊歩道整備(埼玉県事業)支援・広場整備	イベント実施等による広場活用		
	サッカー試合日を中心とした公共交通等優先の交通環境づくり(渋滞緩和策等)の検討・検証	企業・関係機関等との連携によるハード・ソフト両面での交通環境改善(渋滞緩和策等)の取組			
	歩きたくなる浦和美園駅周辺の街並み形成(景観形成等)に向けたマネジメント体制の構築		持続的な街並み誘導	景観形成等)開始	
	エリアマネジメント体制構築、企業・大学の最先端の知見や技術の応用による新たな総合生活支援サービスの提供、地域コミュニティの活用				
	スマートホーム・コミュニティ先導的モデル街区の整備	第2期街区整備	第3期街区整備		
目標	・遊歩道等整備計画作成 ・交通環境改善計画作成 ・街並み誘導の対象区域選定	・遊歩道1.0km整備支援 ・交通社会実験実施 ・街並みルール作成 ・スマートホーム・コミュニティ1街区	・遊歩道2.5km整備支援 ・交通環境整備 ・街並み誘導体制構築 ・スマートホーム・コミュニティ1街区	・広場のスポーツ関連イベント利用 ・公共交通利用増進 ・街並み誘導開始 ・スマートホーム・コミュニティの市内拡大	・広場のスポーツ関連イベント利用 ・公共交通使用増進 ・街並み形成 ・スマートホーム・コミュニティの市内拡大

■民間連携・加速化のポイント

・公共空間を活用した民間活動による収益を公共空間の維持管理に還元することで都市環境の質を上げるためのエリアマネジメント体制構築を進めます。
・「公民+学」によって組織されている「みその都市デザイン協議会」と「美園タウンマネジメント協会」が相互に連携し、整備された空間でのイベント実施等による利活用方策の展開を図ります。

(注1) 自治体・NPO等の「公」、市民・民間企業等の「民」、大学・研究機関等の「学」

1-17 副都心としての岩槻地区の都市機能の強化

■4年間の目的・目標、取組方針

<目的・目標>

自然環境との調和を図りつつ文化・交流機能の充実を進め、歴史と伝統に支えられた地域資源を有効に活用した更なるまちづくりを推進するとともに、副都心として更なる発展を遂げるための都市機能を強化します。

<取組方針>

既存の歴史・文化資源の更なる保全・活用を図るとともに、岩槻の特色を生かしたまちの魅力向上とにぎわいを創出するため、都市機能を強化します。

■現状・背景

・岩槻駅周辺地区は、歴史文化をいかした街並みや施設整備による観光機能の強化、岩槻駅改修に伴う東西自由通路・西口開設、駅前広場の整備等による交通結節点機能の強化等、地域の活性化を図っています。
・今後、地下鉄7号線延伸に向けた需要創出等も踏まえながら、副都心としてのまちづくりの活性化が重要となります。

<岩槻駅(東口側)駅舎>



■各年度の取組内容と目標

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度～
取組内容	■岩槻まちづくりマスタープラン、アクションプラン等に基づく事業の推進				
	・第2期アクションプラン策定に向けた検討				・次期マスタープラン策定に向けた検討 ・次期アクションプラン策定に向けた検討
目標	第2期アクションプランの策定	都市機能の強化に向けた取組の推進	都市機能の強化に向けた取組の推進	都市機能の強化に向けた取組の推進	都市機能の強化に向けた取組の推進

■民間連携・加速化のポイント

都市機能の強化をスピーディーに実現するため、企業の意向等も踏まえながら、民間連携による取組を推進するとともに、地区計画制度等の活用を検討し、まちづくりを推進します。

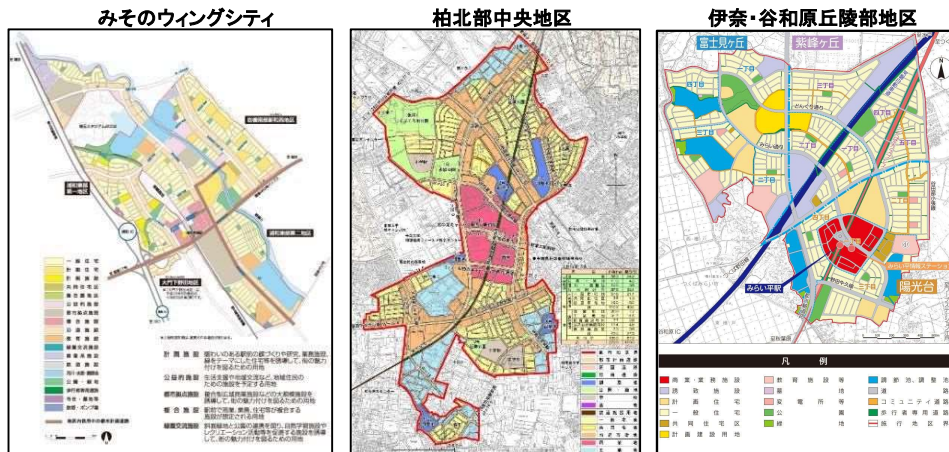
⑭浦和美園駅周辺地区とつくばエクスプレス線沿線人口の推移について

■類似他地区との定住人口の推移比較



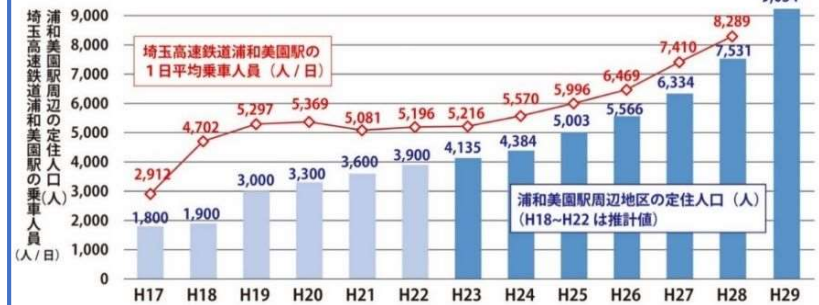
項目	①みそのウイングシティ (浦和美園駅)	②柏北部中央地区 (柏の葉キャンパス駅)	③伊奈・谷和原丘陵部地区 (みらい平駅)
施行面積	316.50ha	272.90ha	274.90ha
計画人口	31,560人	26,000人	16,000人
施行期間	平成12年度～平成33年度	平成12年度～平成35年度	平成5年度～平成29年度
駅開業	平成13年3月	平成17年8月	平成17年8月
都心からの距離	約25km	約25km	約40km
東京駅からの運賃	800円(乗車43分) (東京-王子-浦和美園)	781円(乗車39分) (東京-北千住-柏の葉キャンパス)	1,038円(乗車50分) (東京-北千住-みらい平)
駅前の地価	285,000(円/㎡) (地価公示) (平成29年時点)	303,000(円/㎡) (地価公示) (平成29年時点)	103,000(円/㎡) (都道府県地価調査) (平成29年時点)

■土地利用計画図



①みそのウイングシティ(浦和美園駅)

5年間で約5,000人増加(H24年～H29年)



出典:『さいたま市の人口・世帯(平成13～28年)』、『浦和東部人口・世帯数(平成25年)』、『区画整理地区内外人口世帯(平成26～29年)』全てさいたま市、『統計年鑑(平成14～26年)』埼玉県、『経営状況・輸送状況(平成26～28年度)』埼玉高速鉄道
※平成13～平成22年の「みそのウイングシティ」の人口は推定値です。

②柏北部中央地区(柏の葉キャンパス駅)

平均人口増加数：約1,020(人/年)



出典:定住人口(大字町丁・男女別住民基本台帳人口:柏市HP) 1日平均乗車人員(つくばエクスプレスHP)

③伊奈・谷和原丘陵部地区(みらい平駅)

平均人口増加数：約1,100(人/年)



出典:定住人口(市提供資料) 1日平均乗車人員(つくばエクスプレスHP)